

平成 29 年度事業報告書 (H29.4.1~H30.3.31)

事業名	実施事項	実施時期等	実施内容
相談活動の推進	電話相談等	年間 (239件)	電話相談及びメール相談に対しては、相談員及び支援員の相談対応能力の向上を図りながら適切に実施した。(内：メール相談79件)
	面接相談	年間 (40件)	面接相談に対しては対応する相談員等の相談対応技能の向上を図りながら、相談者に配慮しながら適切に実施した。
	専門相談	年間 (33件)	委嘱した弁護士や臨床心理士による無料相談を実施した。
直接的支援活動の推進	付添い支援	年間 (55件)	被害者等の要請に基づき、相談員、直接支援員等による付添い支援を行い、精神的負担の軽減を図った。(裁判所47件、検察庁1件、警察関係5件、弁護士事務所2件)
	日常生活への支援に関する教養	年間 (4件)	直接支援員等が、被害者遺族の要請により裁判参加の際に、乳幼児の世話等の直接支援を行った。
間接的支援活動の推進	自助グループへの支援	年間 (10回)	被害者遺族同士で支え合う自助グループ「ゆるら」を、8月と10月を除き年間10回開催し積極的な支援を行った。
ボランティア支援員等の育成・養成	支援員継続研修	年間 (17回)	支援員の知識、能力、電話対応、面接技術等の向上、相談員と支援員のメンタルケアなどの研修会を開催した。
	支援員養成講座(第10期生)	10月～2月 (10日間)	養成講座の初回を公開講座とし、以後被害者支援に関して専門家等による講義・ロールプレイ等を実施した。(含む、性犯罪等支援員養成講座)
	性犯罪等支援員養成講座	1月～2月 (4日間)	山梨県からの委託事業として、性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター(仮称)で活動していただく人を対象として実施した。
相談体制の充実	専門相談員の委嘱と緊密な連携	年間	相談業務の充実を図るため、専門相談員13人(精神科医3人・臨床心理士7人、産婦人科医2人、弁護士1人)を委嘱し、緊密な連携の下に必要な体制の整備に努めた。
	代理被害の防止	年間 (1回)	支援員等の代理被害を防止するために、臨床心理士、医師等による研修を実施した。
広報啓発宣伝活動	機関誌発行	年2回	機関紙「あなたに伝えたい」第28号と第29号を各3,000部作成し、会員や県民等へ配付して業務案内や活動状況を広報した。
	広報啓発資料・物品等の作成	年間	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報資料作成 <ul style="list-style-type: none"> ・「生命のメッセージ展inやまなし」案内チラシを12,000枚作成 ・「設立10周年記念誌」を4,000部作成 ・「犯罪被害者支援フォーラム2017inFUJI」案内チラシを2,000枚作成 ・「性犯罪被害者講演会・写真展」の案内チラシを4,000枚作成 ・被害者支援活動広報用チラシ「あなたに伝えたい」を8,000枚作成 ● 広報啓発物品作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ライト付ホイッスル250個を購入 ・ブラックサンダー(菓子)2,400個を購入 ※ 上記の資料、物品は広報啓発活動や講演会、各種イベント会場等で配付した。 ● 広告掲載 <ul style="list-style-type: none"> 新聞広告を、地方新聞2紙に延べ38回掲載し県民等への周知を図った。
	街頭活動	年間	<ul style="list-style-type: none"> ● 街頭等における広報宣伝活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ザ・ビッグ甲府長松寺店、イオン甲府昭和店におけるイエローレシートキャンペーンでの広報宣伝活動 ・JR甲府駅におけるお昼のミニコンサートや犯罪被害者の日等の広報宣伝活動 ・小瀬スポーツ公園における県民の日イベント会場での広報宣伝活動 ・コラニー文化ホールにおける県警察ふれあい

広報啓発宣伝活動	街頭活動	年間	コンサート会場での広報宣伝活動 ・南アルプス市若草生涯学習センターにおける南アルプス市民フェスタ会場での広報宣伝活動 など、延べ27回実施した。
	ホームページ更新 講師派遣等	年間	●ホームページの随時更新 ホームページを随時更新することにより、タイムリーに新たな情報を発信した。 ●講師派遣 甲府地方検察庁、甲府刑務所、警察本部など各種関係機関や団体等からの要請に応じ、講師の派遣を延べ10回行い、犯罪被害者等の現状及び支援活動の重要性・必要性について理解を深めさせ、その周知を図った。
	展示会、講演会、命の大切さを学ぶ授業等の開催	年間	●生命のメッセージ展開催 設立10周年記念イベントとして、「生命のメッセージ展inやまなし」を県立図書館で開催した。 ●写真展 性犯罪被害者写真展「サバイバー達の素顔」を甲府市役所と県立図書館で開催した。 ●講演会の開催 ・設立10周年記念式典において、世田谷一家4人殺人事件の遺族「入江杏」氏による記念講演を県立図書館で開催した。 ・犯罪被害者支援週間にフォトジャーナリストで性犯罪被害者の「大藪順子」氏を招き県立図書館で講演を開催した。 ・犯罪被害者支援フォーラム2017inFUJIに殺人事件の被害者遺族「清水誠一郎」氏を招き富士吉田市民会館で開催した。 ●命の大切さを学ぶ授業 ・高校生・中学生を対象にした「命の大切さを学ぶ授業」を10回開催した。 富士北陵高校、東海大学付属甲府高校 甲府南高校、都留高校、山梨英和中 帝京第三高校、甲府工業高校、富士学苑中 甲府北中、甲府城西高校 ・命の大切さを学ぶ授業全国作文コンクールで都留高校3年の「山本悠希」さんが文部科学大臣賞を受賞した。
	設立10周年記念式典の開催	6月3、4日	設立10周年記念式典を山梨県知事、山梨県警察本部長、全国被害者支援ネットワーク理事長他の来賓に出席をいただき、6月4日県立図書館において開催した。 記念式典では、来賓挨拶、特別功労者表彰、功労役員表彰、記念講演会を行った。また、記念イベントとして、6月3日、4日県立図書館において、犯罪や悪質交通事故で命を奪われた被害者160人の等身大人型と遺品の靴を展示する「生命のメッセージ展inやまなし」を開催した。
	犯罪被害者支援フォーラム2017inFUJIの開催	9月10日	郡内地域で初めての広報啓発活動として、9月10日富士吉田市民会館において「犯罪被害者支援フォーラム2017inFUJI」を開催した。 第1部では熊本県から、当時3歳の娘を殺された遺族を招いた講演会を開催、第2部では山梨県警察音楽隊とカラーガード隊によるコンサートを行った。
調査研究活動	研究活動	年間	全国規模、関東・甲信越ブロック規模の犯罪被害者支援に関する研修会、他の関係機関が開催する各種講座・講演会等へ積極的に参加し、被害者支援活動の現状・問題点、支援団体のあり方等について研究した。 (延べ22回 33日間 63人参加)